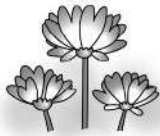




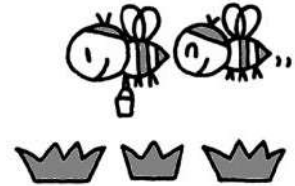
☆ 花いっぱい春！！

寒い冬がようやく終わり、いろいろな草花が花をつけ始めました。暖かい日を見つけて、お弁当を持ってでかけませんか？そんな楽しい本を集めてみました。

さあ、みんなで外にでかけましょう！



春、みつけたよ！



絵本・ピクニックにいこう！

パット・ハッチンス作・絵 たなかあきこ訳 徳間書店

いい天気さそわれて、めんどりと、かもと、がちょうが、ピクニックにでかけました。お昼にぴったりの場所をみつけて、さあ食べようとすると、あれあれあれ・・・おべんとうがありません。

いったいだれが食べたのでしょうかね？

絵本・うーら うらら はるまつり

くさばなおみせやさんごっこ かがくのとも傑作集
長谷川摂子文 沼野正子絵 福音館書店

どんぐり園では、春の草や花をいっぱい集めて「はるまつり」をすることにしました。れんげやすみれの花でつくったアクセサリーをならべた“おしゃれなおみせ”や“かおりのみせ”などたくさんのお店ができました。

みなさんも草花を使って、いろいろなものを作ってみませんか！“つくりかた”ものっています。



絵本・エルマーとちょうちょ

デビット・マッキー作 きたむらさとし訳 BL出版

パッチワーク模様のぞうエルマーは、散歩の途中、閉じこめられていたちょうちょを助けました。しばらく行くと今度はエルマーが閉じこめられてしまいました！さあ、どうやってエルマーは助けられたのでしょうか？

あざやかな色彩の絵本で、ユーモアのある文が、楽しさを添えてくれます。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

5月20日(土)、 6月17日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや

絵本・おひやくしょうのやん

ディック・ブルーナ文・絵 松岡享子訳 福音館書店

おひやくしょうのやんは、畑に花の種をまきました。ところが、とりたちが種をつつき始めたので、やんはかかしを立てました。そして、きれいな花が咲いたので、やんはとりたちのために……。

明快な色・線そして文の楽しい絵本です。子どもたちは、きっとやんと一緒になって満足することでしょう。



絵本・ルピナスさん

バーバラ・クーニー作 掛川恭子訳 ほるぷ出版

「話に聞いた遠い国々へ行きたい」と言うアリスに、おじいさんは「世の中を美しくするための事もしてほしい」と言いました。大きくなって世界中の国々を訪れた後に、おじいさんとの約束を果たすためにアリスが考えついたことは…？

淡い色づかいのピンク・ブルー、そして草の色が美しい絵を見ていると、ストーリーと重なって、すがすがしい気持ちになる絵本です。



☆ ☆ 雨ニモマケズ！！

梅雨に入り、雨の日が多くなりました。雨による被害も出ており、被害を受けた方々はさぞ大変だろうと思います。そんなとき思い出す絵本があります。『まりーちゃんとおおあめ』という絵本で、洪水にあったまりーちゃん一家の様子が描かれています。災害を題材にしているのに、とても明るい印象が残ります。特に、見開きの画面に描かれた晴れた日の様子が大好きです。

雨の日はちょっとゆううつになりますが、そんなときこそ前向きに明るくいききたいですね！



雨でも明るく！



絵本・まりーちゃんとおおあめ

フランソワーズ文・絵 木島始訳 福音館書店

「あめです あめです いやなあめ」大雨でまりーちゃんの家は水に囲まれてしまいます。その時あひるのまでろんが、があがあ鳴いて助けを呼んできてくれました。洪水のあとはみんな協力して大掃除です。

題材は深刻ですが、なぜか明るい温かい気持ちになる絵本です。

絵本・あめの日のおさんぽ

U・シェフラー文 U・ヴェンセル絵 若林ひとみ訳 文化出版局

ぼくはおばあちゃんに黄色いレインコートを買った。待ちに待った雨の日、ぼくはおばあちゃんと散歩に出かけた。みずたまりも長靴をはけば大丈夫。ママ、雨の日はいつもの風景が新鮮に見えて面白いんだよ！

温かな色づかいで、雨の日の楽しさをたっぷり伝えている絵本です。

絵本・どろんこハリー

ジーン・ジオン文 マーガレット・プロイ・グレアム絵 渡辺茂男訳 福音館書店

ハリーは黒いぶちのある白い犬。でも、遊びに行くとどろんこの真っ黒けに！ まるで白いぶちのある黒い犬のようです。家に帰っても、だれもハリーだと気づいてくれません。

どろんこ遊びの楽しさと家の人に自分だとわからせようとするハリーの様子が楽しい絵本です。

絵本・ちいさいおうち

バージニア・リー・パートン文・絵 石井桃子訳 岩波書店

しずかないなかの、ちいさいおうち。季節の移り変わりを眺めて暮らす毎日、ある日突然まわりに道路ができ、ビルが建ち、電車が走り出すと消えてしまいました。おひさまやひなぎく、月や星の见えない毎日にしょんぼりしていたおうちに、思わぬ助けの手が差しのべられます。絵本でありながら、時の流れや、変わるもの・変わらないものについて考えさせられます。



絵本・かようびのよる

デヴィッド・ウィーズナー作・絵 当麻ゆか訳 徳間書店

かようび、よる8時ごろ。カーテンの隙間から、そっと外を覗いてみよう。もしかしたら、空とぶ彼らを見ることができのかもしれない。次の日、不思議顔の大人には、もちろん内緒だよ。（*カエルが苦手な人は、ご用心！）

かようびのよる、運が良ければ・・・

★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

7月15日(土)、 8月19日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

発行：すばなしの会みみずく
http://www.h4.dion.ne.jp/~mimizuku/

☆ 夏休み、外遊びに疲れたら…お部屋で絵本！

毎日暑いですね。でも、もうすぐ楽しい夏休み！
みなさんは、もう夏休みの計画は立てましたか？ 海にプールに虫とりに・・・外遊びに疲れたら、お部屋で絵本を開いてみましょう。この夏、あなたのお気に入りの一冊が見つかるかもしれませんね。

No. 23

2006.7.15



夏、ちょっと冒険もいいね！！



絵本・千とゆうかなせんちょうさん

エドワード・アーディゾーニ作
瀬田貞二訳 福音館書店

海岸の家に住むチムは、早く船乗りになりたくてたまりません。仲良しの船長さんの話を聞いて、夢がふくらむばかりです。とうとう汽船に忍びこみ、航海に出ることに！ 仕事は大変だけど楽しい毎日を過ごすうち、ある日船は嵐にあい……子どもの冒険心を満足させてくれる絵本です。

絵本・いたずらこねこ

バーナディン・クック文 レミイ・シャーリップ絵
間崎ルリ子訳 福音館書店

小さな池に小さなカメが一匹。その隣りの家にいたずらな子ネコが一匹。ある日、カメのいる庭へ入ってきた子ネコは、カメが気になってしかたがありません。好奇心いっぱい前足でたたくと、カメの首や足が消えてびっくり仰天！！



絵本・かしこいビル

ウィリアム・ニコルソン作
松岡享子・吉田新一訳 ペンギン社

おばさんの家にお泊まりすることになったメリーは、お人形のあし毛のアップル、スーザン、そして“かしこいビル”を連れていくことにします。ところが、荷物をトランクにうまく詰められなくてビルを忘れてしまったのです！！そこでビルは、メリーを追いかけて走り出します。かしこいビルのユーモラスな動きや、絵の中の作者の“遊び”も楽しいですよ！

絵本・どろんこごぶた

アーノルド・ローベル作 岸田衞子訳 文化出版局

お百姓さんの家のこぶたは「世界中で一番かわいいこぶた」といってかわいがられています。でも、こぶたが何より好きなのは、やわらかいどろんこ。ある時おばさんが大掃除をはじめ、大好きなどろんこをきれいにしてしまいます。怒ったこぶたは、家出してどろんこを探し出すと身を沈めました。ところが……！絵もストーリーも楽しい一冊です。

絵本・かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック作 神宮輝夫訳 富山房

いたずらをして暴れたマックスは、夕食抜きで寝室へ。すると、寝室に木が生えて森になり、波が打ち寄せてきました。マックスは1年と1日航海して、なんと怪獣たちの島に着きます。そして、マックスは怪獣たちの王様になり……

丹念に描かれたペン画の怪獣たちは、迫力満点！ みんなの大好きな絵本です。

絵本・せいめいのれきし

バージニア・リー・バートン文・絵
石井桃子訳 福音館書店

「地球上に生命が生まれた時から今までのお話」を、5幕36場の舞台劇の形で描いた絵本。生命の歴史を、大胆なデザインで丹念な美しい絵で表し、小さい子どもにもわかるように構成しています。連綿と続いてきた生命の環は、読者自身へとつながり「この後は、あなたがたのお話です」と結ばれています。

分厚くて子ども向きではないと思われるかもしれませんが、一度興味を持つと、くいいるように見て楽しめます。



科学絵本・しっぽのはたらき

川田健文 藪内正幸絵 今泉吉典監修
福音館書店

見開きの右画面に何かの動物のしっぽ。「何のしっぽでしょう？」ページをめくると、その動物の姿としっぽの働きが、わかりやすく説明されています。

いろいろなしっぽに焦点をあて、それを生き生きとした絵と簡潔な文章で語り、あまり本になじみのない子どもも引きつけます。

絵本・しまふくろうのみずうみ

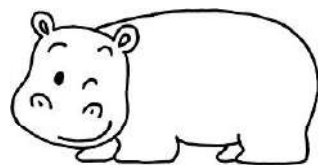
手島圭三郎画・文 リブリオ出版

北海道の山奥の湖を舞台に、夜行性のしまふくろうの親子の生態を知ることができる絵本です。アイヌ語で“神の鳥”と呼ばれ、絶滅の危機にあるしまふくろうと、北海道の雄大な自然が、力強い木版画で描かれています。

字のない絵本・木のうた

イエラ・マリ作 ほるぷ出版

この絵本は、見開きページの同じ位置に1本の太木を据え、四季とともに移り変わる木そのものの姿や、そこに暮らすリスや小鳥の生態を描いています。文字のない絵本ですが、美しく彩られたイラストは、詩情豊かに四季の移ろいを描き作者の自然に対する深い愛情を映し出します。



絵本・ちいさなヒッポ

マーシャ・ブラウン作 うちだりさこ訳 偕成社

カバの子のヒッポは、いつもおかあさんと一緒に。おかあさんといれば、危ないことはありません。おかあさんは、ヒッポにカバの言葉を教えます。「グアオ」は、カバにとって大事な言葉です。

淡い色調ながら、木版画の力強さを堪能させてくれる絵本です。

★ すばなしの会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は **8月19日(土)、9月16日(土)**
時間 **午後3:00~3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**





☆ 秋本番の気配です。

長かった残暑もやっと終わり、秋本番の気配になってきました。木の葉が色づき、果物が実り、風も冷気を含んでいます。過ごしやすくなった夜長、たまには絵本を楽しんでみてはいかがでしょうか？意外な発見があるかもしれませんよ。



木の葉が色づき、果物が実る季節！



絵本・いまはあき

ロイス・レンスキー作 さくまゆみこ訳
あすなる書房

葉は色づき、風に舞い、りんごが実り、木の実は落ちます。夏休みが終わって、学校も始まります。そして、何といても楽しみなのは、ハロウィン！仮装行列に美味しいごちそう。豊かな実りに感謝します。

楽しい秋の情景を、親しみやすい絵と、簡潔な文章で描いています。

絵本・ぶどう畑のアオさん

馬場のぼる文・絵 こぐま社

丘の上のぶどう畑を夢に見た馬のアオさんは、さっそく森の小道を抜け、さがしにいきました。すると、そこには本当にぶどう畑があったのです！「みんなで食べたらおいしいよ」と笑うアオさんは、いじわるでぶどう畑をひとりじめしようとしたオオカミくんも帰ってくればいいのにな、と思うのでした。

絵本・がちょうのペチューニア

ロジャー・デュボワザン作 松岡享子訳 富山房

ペチューニアはちよっぴりおばかさんのがちょうです。ある日「本」を拾ったペチューニアは、持っていればかしこくなる、と思ひこみます。人間はいばると鼻が高くなるけれど、がちょうは首が伸びるんです！そんなペチューニアに相談してはとんでもないことになる動物たちの様子が楽しい絵本です。



絵本・ラチとらいおん

マレーク・ペロニカ文・絵 とくながやすもと訳
福音館書店

世界一弱虫のラチの夢は飛行士になること。ある朝、目をさましたラチのところに、小さな赤いライオンが来てくれました。それからラチはライオンと一緒に、怖いと思っていることに一つずつ挑戦し、乗り越えていきます。

キャラクター商品でしか絵を見たことのない方も、手にとって読んでみてください。きっとこの絵本の魅力がわかっていただけると思います。



写真絵本・森へ

(たくさんのふしぎ傑作集)

星野道夫文・写真 福音館書店

朝霧の中、カヤックを入り江の奥へと進めると、そこは原生林の世界。クマの作った踏み分け道を通って、森の奥へと歩を進めた“ぼく”が、そこで見、感じたものは……。

アラスカを愛し、アラスカで亡くなった星野道夫の写真絵本です。迫力あふれる写真と淡々と語られる文章をお楽しみください。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

11月18日(土)、12月16日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

発行：すばなしの会みみずく
http://www.h4.dion.ne.jp/~mimizuku/

☆ クリスマスの本集めました！
あなたはどの本が好きかな？

今年も街の中では、クリスマス飾りでにぎわう季節がやってきました。クリスマスの本はたくさんありますが、あなたはどの本が好きですか？暖かいお部屋の中、親子でクリスマスの本を楽しみましょう！



No. 25

2006.12.16



★ Merry Christmas & Happy New Year ★



絵本・6ぴきのこぶたのクリスマス

ブルース・コシールニアック作
うえだまさこ訳 佑学社

ヘクターとうさんとプルーデンスかあさんには6ぴきのこぶたがいました。二人が用意したプレゼントは、ピカピカの汽車のセット。汽車はみんなをのせて走り出しました。さて、どこに行くのかな？

絵本・リサとガスパールのクリスマス

アン・グットマン文 ゲオルグ・ハレンスレーベン 絵
石津ちひろ訳 ブロンズ新社

もうすぐクリスマス。リサはガスパールとバラディ先生へのプレゼントを考えます。そして、いつも自転車に乗っている先生のために、レインコートを贈ることにします。ガスパールの家のシャワーカーテンをはずし、のりで貼って・・・ところが！！ステキなプレゼントはできるのでしょうか？



絵本・あのね、サンタの国ではね…

松本智年、一色恭子原案 嘉納純子文
黒井健絵 偕成社

「サンタさんって、いつもはどこで何をしてるのかな？」なんて、みなさんは考えたことはありませんか？サンタの国の一年の出来事を楽しく描いた絵本です。

絵本・どうぶつたちのクリスマス

ノーマ・ファーバー作 バーバラ・クーニー 絵
太田愛人訳 佑学社

2000年も前のある冬の夜、星がひとつ、ことのほか鮮やかに輝きました。その星は、冬眠中の動物たちを目覚めさせ“ベツレヘム”へと向かわせました。イエス・キリストの誕生を、動物たちの視線で描いた、クーニーのあたたかな色彩が魅力の絵本です。



絵本・クリスマスのものがたり

フェリクス・ホフマン作
しょうのこうきち訳 福音館書店

クリスマスーそれはキリストの生まれた日、というのは聞いたことがあると思います。この絵本は、聖書で語られるおはなしを、わかりやすい文章でつづっています。そして、ホフマンの抑えた色調の絵が、物語を一層盛り上げています。

絵本・聖なる夜に

ピーター・コリントン作 BL出版
クリスマス・イブ…それは、奇跡のおきる夜。

愛用のアコーディオンを手放して得たわずかなお金で、イブを過ごそうとしたおばあさん。けれども、それをひったくりで奪われてしまいます。どんなに貧しくても正しい行いを忘れないおばあさんに起きる奇跡とは？文字のない絵本です。

絵本・クリスマスをさがして

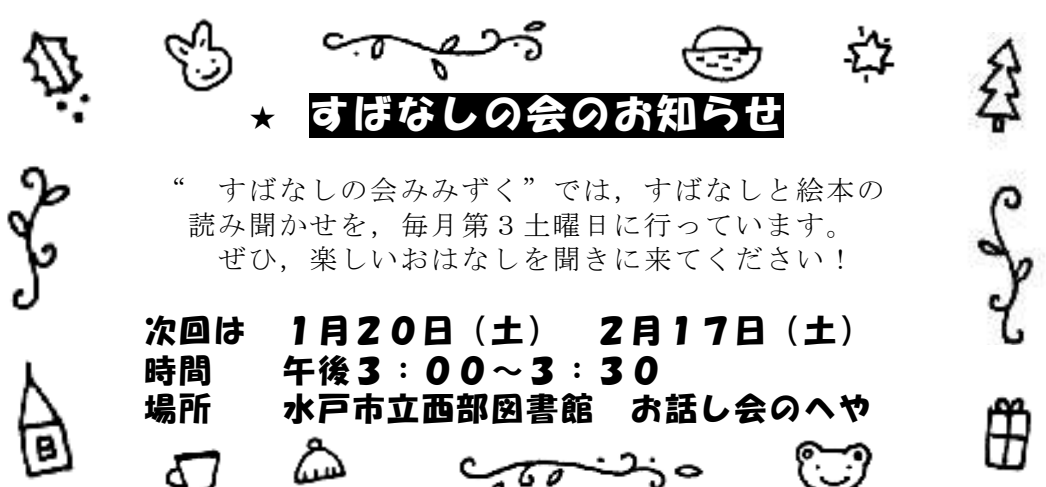
T・S・ハイマン 絵 若林千鶴 訳
金の星社

クリスマスってなんでしょう？とっても知りたい小さな女の子は「大雪の森」へとでかけます。そして、個性豊かなネコ・イヌ・タカ・キツネ・ツグミに出会い、一緒に森へ向かいます。はたして、女の子はどんなクリスマスを見つけるのでしょうか？



絵本・クリスマスのうた絵本

H・A・レイ作 あすなる書房
クリスマスの季節によく歌われる「もみの木」「きよしこの夜」を含む選りすぐりの10曲を収めた本。『ひとまねござる』の作者H・A・レイの絵が楽しい絵本。ピアノ伴奏用譜面つきです。



絵本・クリスマス・クリスマス

角野栄子作 たくさんのふしぎ傑作集
福音館書店

クリスマスやサンタクロースの意味や歴史、そして、世界各国のクリスマスの様子を、たくさんのカラー写真やさし絵をのせて紹介しています。わかりやすい、あたたかみのある文章も魅力の絵本です。

絵本・やかまし村のクリスマス

アストリッド・リンドグリーン 作
イロン・ヴィークランド 絵
おざきよし訳 ポプラ社

やかまし村には、7人の子どもがいます。みんなクリスマスが大好きです。どんなにこの日を楽しみにしているか、絵本を見ればすぐわかるはず！今にも動き出しそうな子どもたちが、生き生きと描かれています。

★ すばなしの会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は 1月20日(土) 2月17日(土)
時間 午後3:00~3:30
場所 水戸市立西部図書館 お話し会のへや



☆ 春一番の風が吹きました！

今年は昨年と違い暖冬で、水戸では初雪の便りもなく、もう春一番の風が吹きました。日当たりの良い所では、梅も枝いっぱい咲いてきました。花粉症の方は、そろそろマスクの必要な季節になってしまいましたね。

さて、今回も、すてきな絵本をご紹介します。体だけでなく、心もホッとあたたかくなってくださいね。



心はいつもあたたかいね！



絵本・おおさおこさお

こいでやすこ作 福音館書店

きつねのきつこといたちのちいとにいが、お気に入りのマントを着てそり遊びに行きました。そこで雪だるまと出会い、みんなで楽しく遊び始めましたが…

雪の降る外の世界は、いろいろなことが起こりそう！そんなわくわくする気持ちが、明るい親しみのある絵で描かれた楽しい絵本です。

絵本・ふゆねこさん

ハワード・ノッツ作 松岡享子訳 偕成社

夏に生まれた野生のねこは冬を知りません。降ってきた雪に「冬ってなんだろう？」と考えます。日ごとに寒くなる中、子どもたちがねこに気づき、世話をしようと近づいていきます。毎日、少しずつ、少しずつ…

ねこの気持ち、子どもたちの気持ちが、モノトーンで静かにあたたかく描かれています。

科学絵本・雪の日記帳

高田勝著 岩崎書店

まっ白な雪の上に点々と続く足あとや、散らかしたような木の実。いったいだれが残っていたのでしょうか？それは、動物や鳥たちが書き残していった日記です。私たちはそれを読むことで、動物たちの冬の生活の一部をかいま見ることができます。

たくさんの写真とわかりやすい文章で、雪の上の「日記」の読み方を教えてください。

絵本・ウッレのスキーのたび

エルサ・ベスコフ作 石井登志子訳 フェリシモ出版

ウッレは、6才のお誕生日に、お父さんから本物のスキーをもらいました。待ちに待った冬が来ると、大喜びでスキーをはいて出かけました。すると、頭の先から足の先まで、きらきらと白くかがやく霜じいさんにあいました。霜じいさんはウッレに「冬王さまの城へ行ってみたいか？」と聞きます。

雪の白が美しく、霜じいさんや雪どけばあさんなど、登場人物も雰囲気のあるスウェーデンの絵本です。



絵本・おふろだいすき

松岡享子作 林明子絵 福音館書店

おふろが大好きなまこちゃんは、きょうもあひるのプッカをつれておふろに入ります。するとどうでしょう！そこへかめやペンギン、オットセイにかば、くじらまで出てきていっしょにおふろに入ります。

そう、あなたの家のおふろにも、ペンギンやかばがいるかもしれませんよ！



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

3月17日(土)、 4月21日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや